

～70mV/V の範囲にあり、平均値は 12.4mV/V である。塊状硫化物鉱体が賦存しているため、他の地区に比べ比抵抗が全体的に低いことが特徴である。

TDIP 平面図によるとオープンピットを中心として低比抵抗・高分極率異常が分布する。この異常は深部に行くにしたがって北東方向に中心を移す傾向が認められる。これまで実施されたボーリング調査では北東方向に傾斜しているストックワークが確認されており、IP 異常と調和的である。また、オープンピットの南西部（測線 1600N，測点 2.5）付近の N=3 でも低比抵抗・高分極率異常が認められる。

2次元解析断面図によると、低比抵抗はオープンピットの浅部付近に限られており、深部への延長は認められない。分極率はオープンピットの箇所以外に測線 1700N の東部(測点 5.5 以東)の深部および測線 1500N の中央付近の深部に認められる。以上のことから、塊状硫化物鉱はオープンピットの部分に限られており、その周辺ではストックワーク鉱体が賦存しているものと考えられる。

2-5-2 クルン・アル・アクバブ地区

クルン・アル・アクバブ地区の測線位置図を Fig. II-2-21 に示す。本地区では、第 2 年次に 0.8km の東西測線を 5 本、1.0km の南北測線を 2 本設定して測定を実施した。TDIP 断面図及び平面図をそれぞれ Fig. II-2-22, 23 に示す。また、2次元解析断面図及び平面図をそれぞれ Fig. II-2-24, 25 に示す。

本地区の見掛け比抵抗は 17.5～1,195 Ω m の範囲にあり、平均値は 212 Ω m である。分極率は 0.1～37mV/V の範囲にあり、平均値は 15.1mV/V である。本地区では第 1 年次の TDIP 法調査で低比抵抗・高分極率異常が、また TEM 法調査で高磁場異常が捕捉されたため、塊状硫化物鉱床の賦存が期待されたが、ボーリング調査の結果ストックワーク鉱化帯が確認された。第 2 年次の精密な調査で、ストックワーク鉱化帯に伴う IP 異常域のより詳細な分布状況が判明した。

高分極率異常の中心は測線 1600N，測点 28, 29 付近にあり、N=1 では東西 350m，南北 200m 程度の広がりを見せている。中心付近では低比抵抗を示すが、それ以外は概して高比抵抗である。また、N=1 では測線 1900N の東部にも高分極率異常が分布している。

2次元解析の結果によると、分極率の中心は測線 1600N，1700N の測点 28～30 付近であり、深度 50m の平面図では、30mV/V 以上の高分極率が東西 250m，南北 150m の範囲に分布する。比抵抗は、高分極率異常の中心付近で 25 Ω m 以下の低比抵抗を示すが、それ以外では分極率が高い箇所でも比較的高い比抵抗値を示している。

2-5-3 タウィ・ラカー鉱徴地

タウィ・ラカー地区の測線位置図を Fig. II-2-26 に示す。本地区では第 2 年次に、測線長 0.6km の東西測線を 8 本、測線長 1.1km の南北測線を 1 本設定して測定を実施した。TDIP 断面図及び平面図をそれぞれ Fig. II-2-27, 28 に示す。また、2次元解析断面図及び平面図をそれぞれ Fig. II-2-29, 30 に示す。

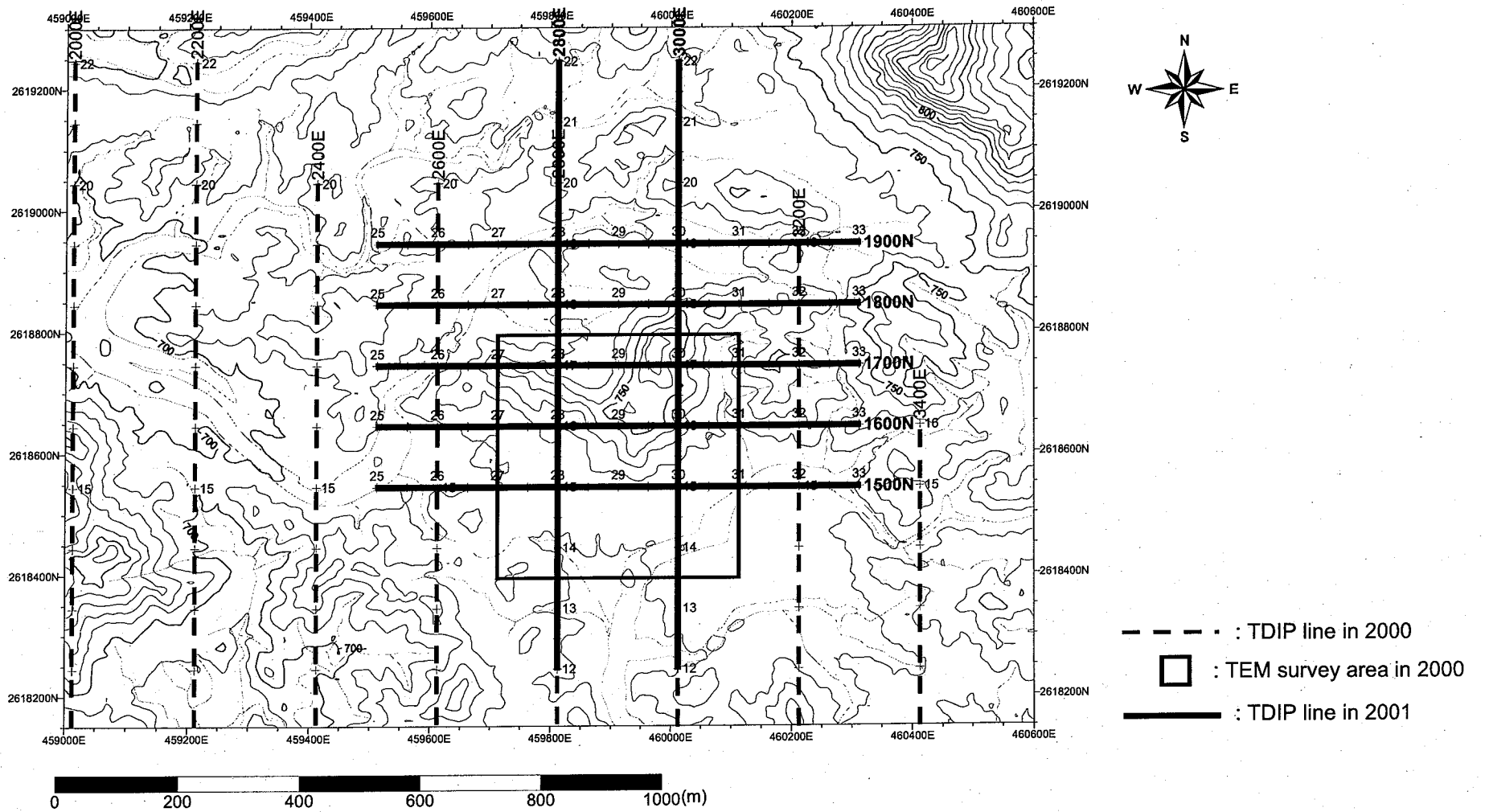


Fig. II -2-21 Geophysical survey location in Quron Al-Akhhbab area

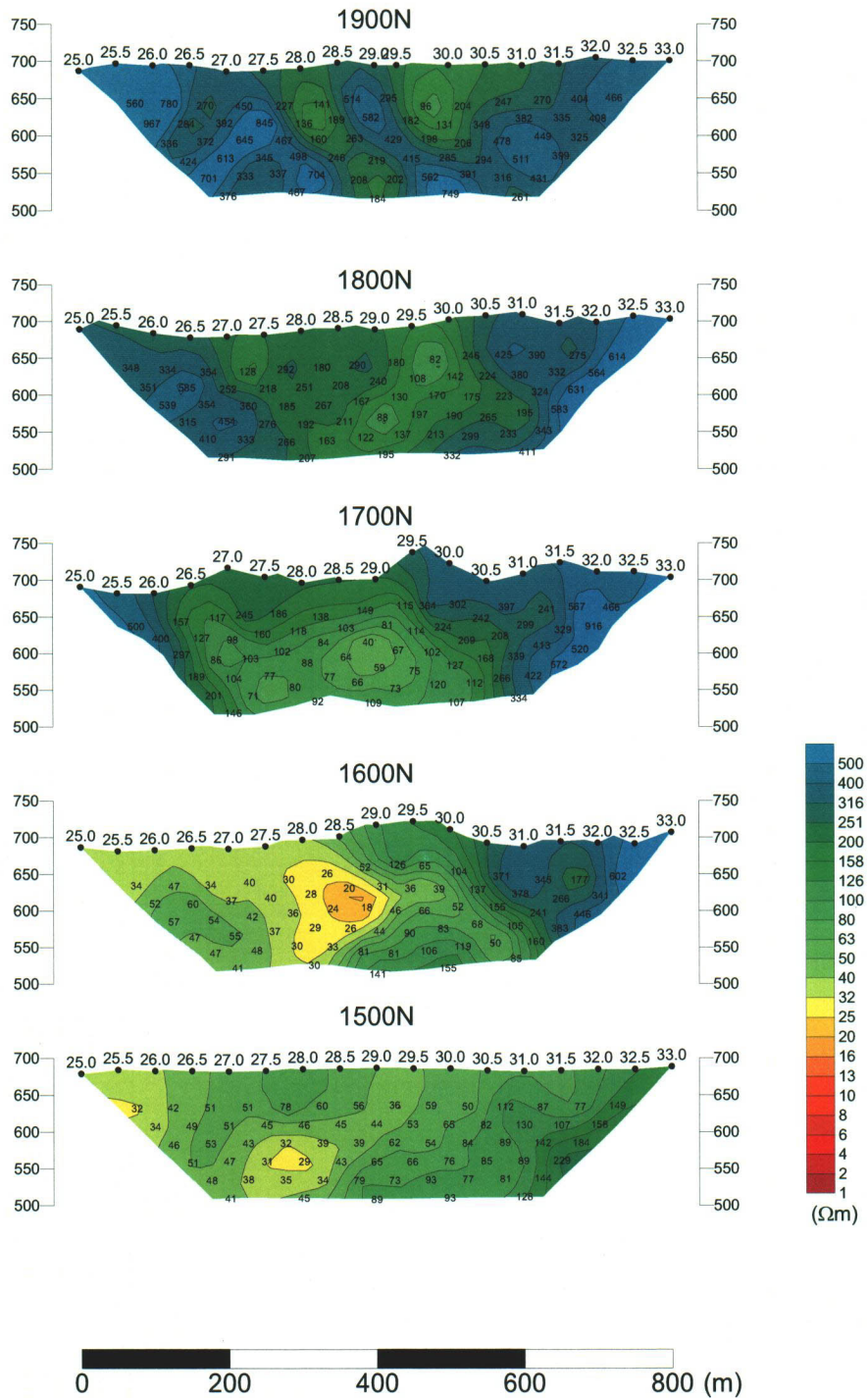


Fig. II -2-22(1) Apparent resistivity pseudo-sections of E-W lines in Quron Al-Akhabab area

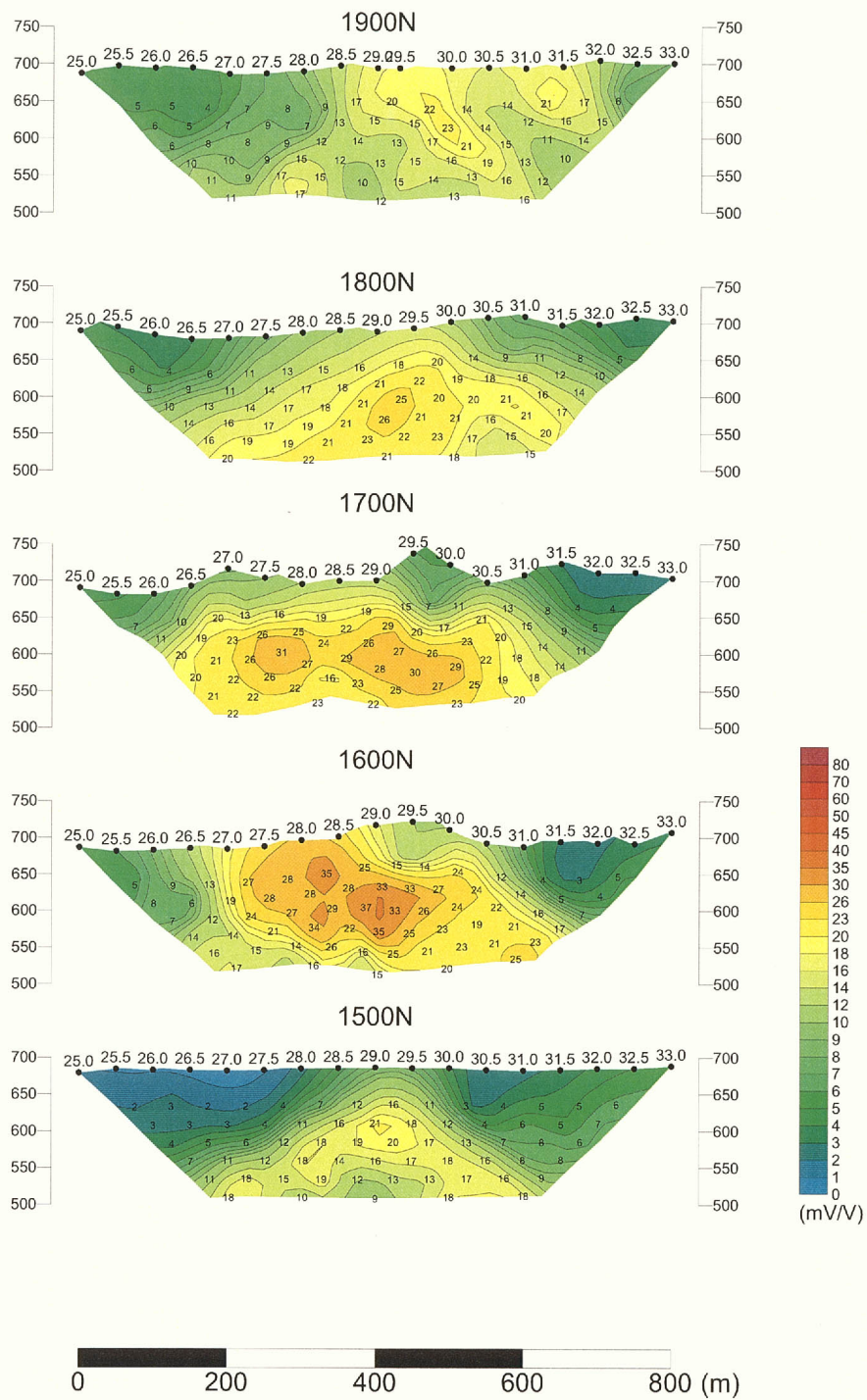


Fig. II -2-22(2) Chargeability pseudo-sections of E-W lines in Quron Al-Akhabab area

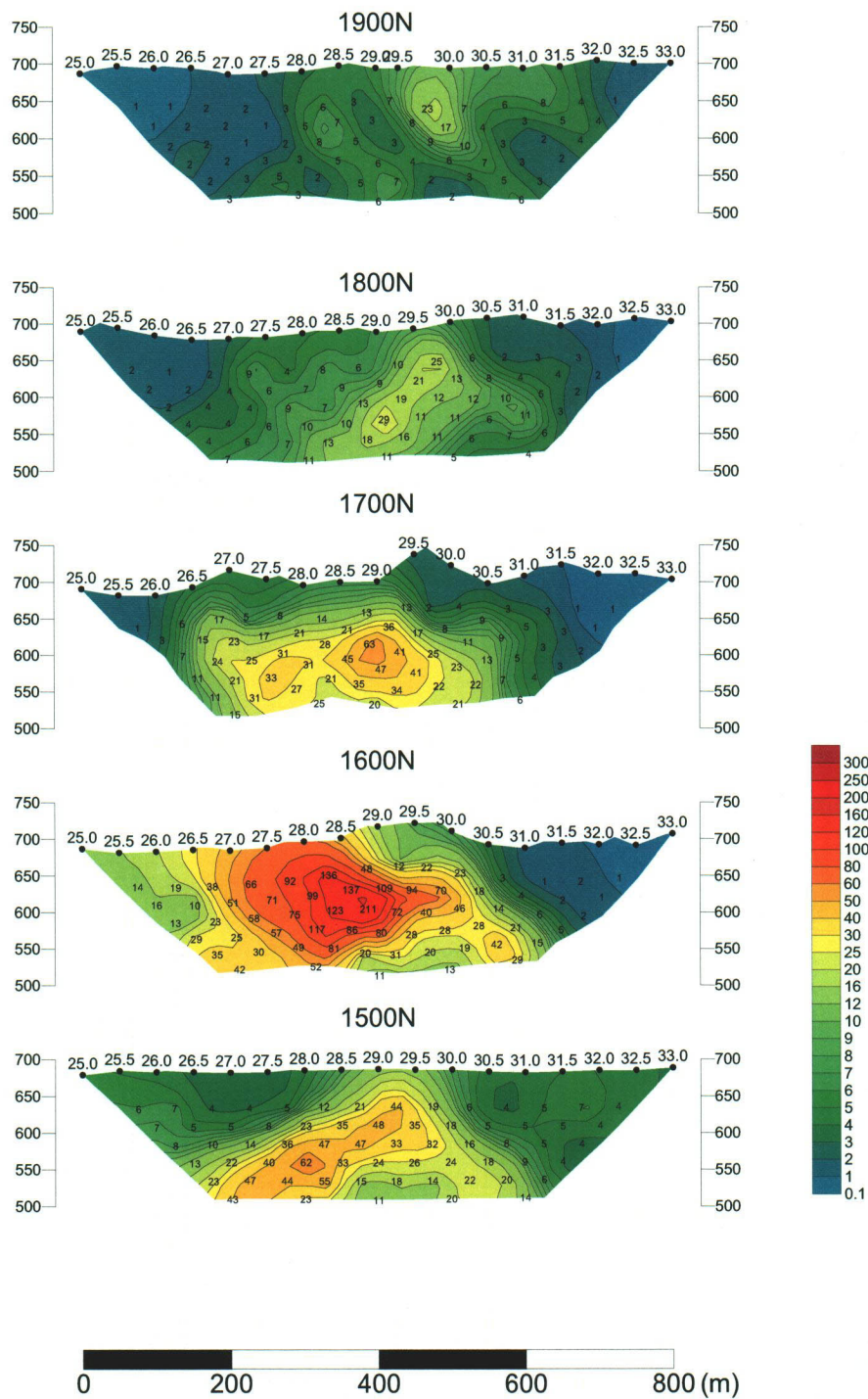


Fig. II -2-22(3) Metal factor pseudo-sections of E-W lines in Quron Al-Akhabab area

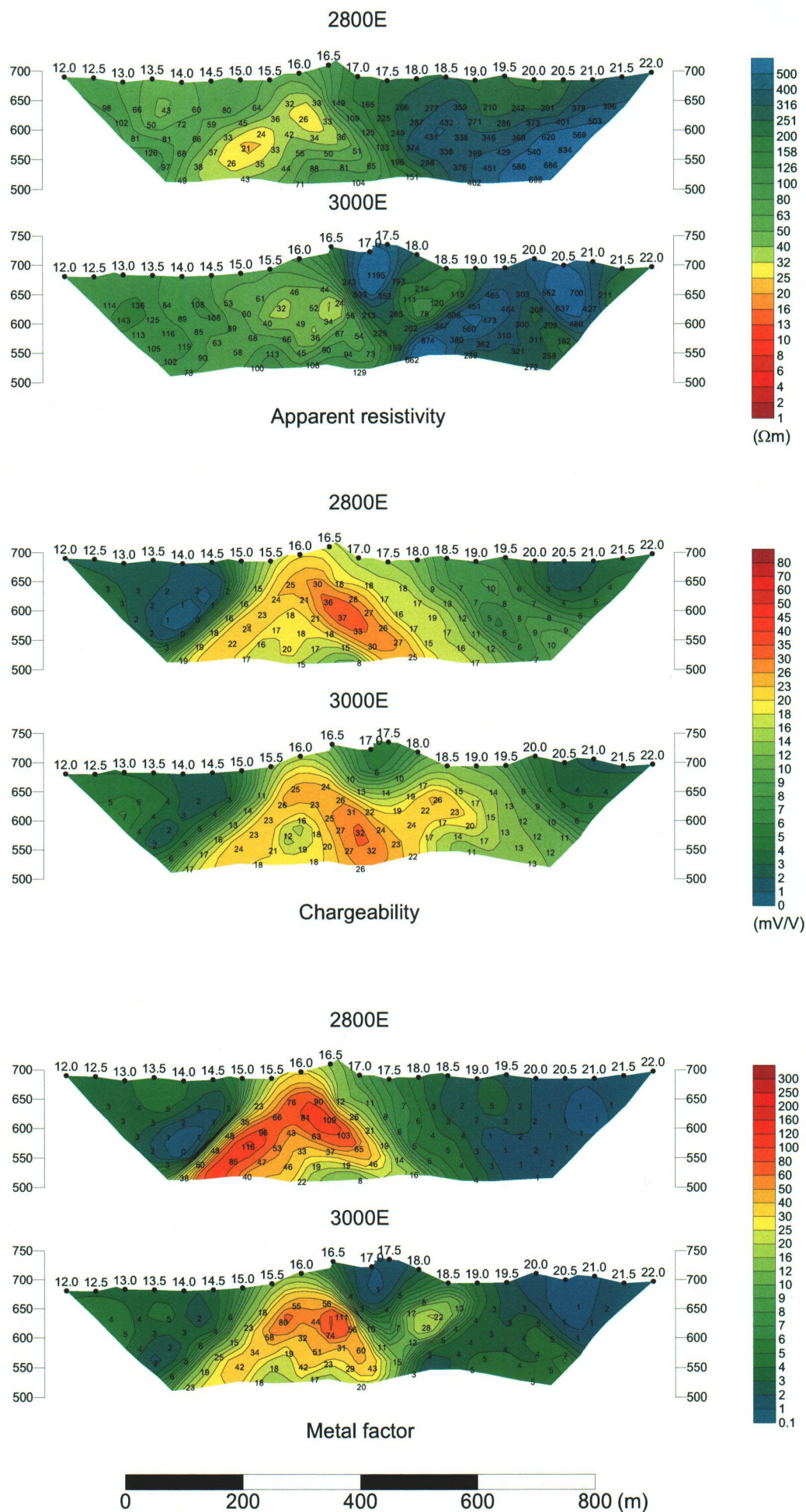


Fig. II -2-22(4) TDIP pseudo-sections of N-S line in Quron Al-Akhabab area

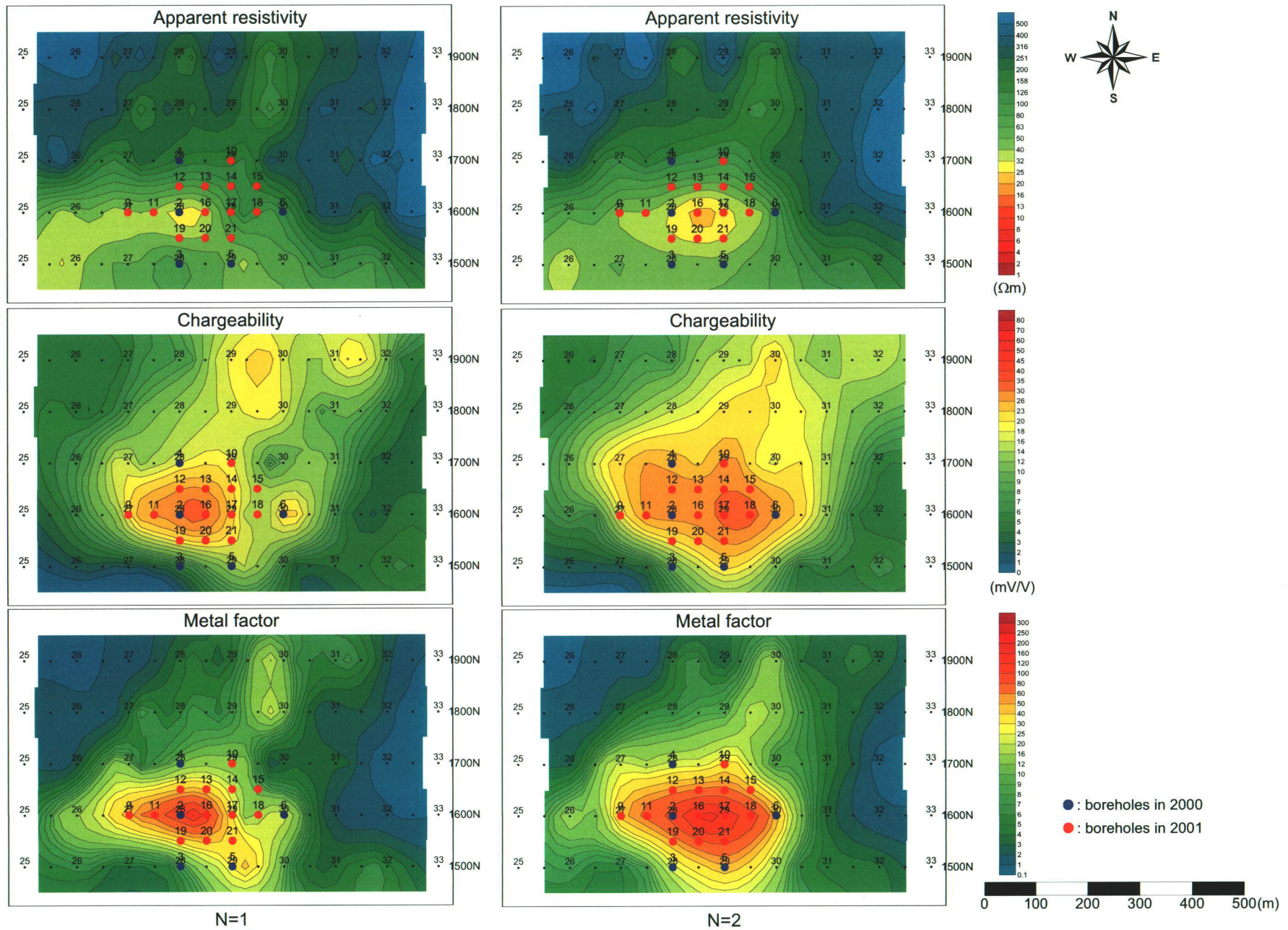


Fig. II -2-23(1) TDIP plane maps for N=1 and 2 in Quron Al-Akhabab area

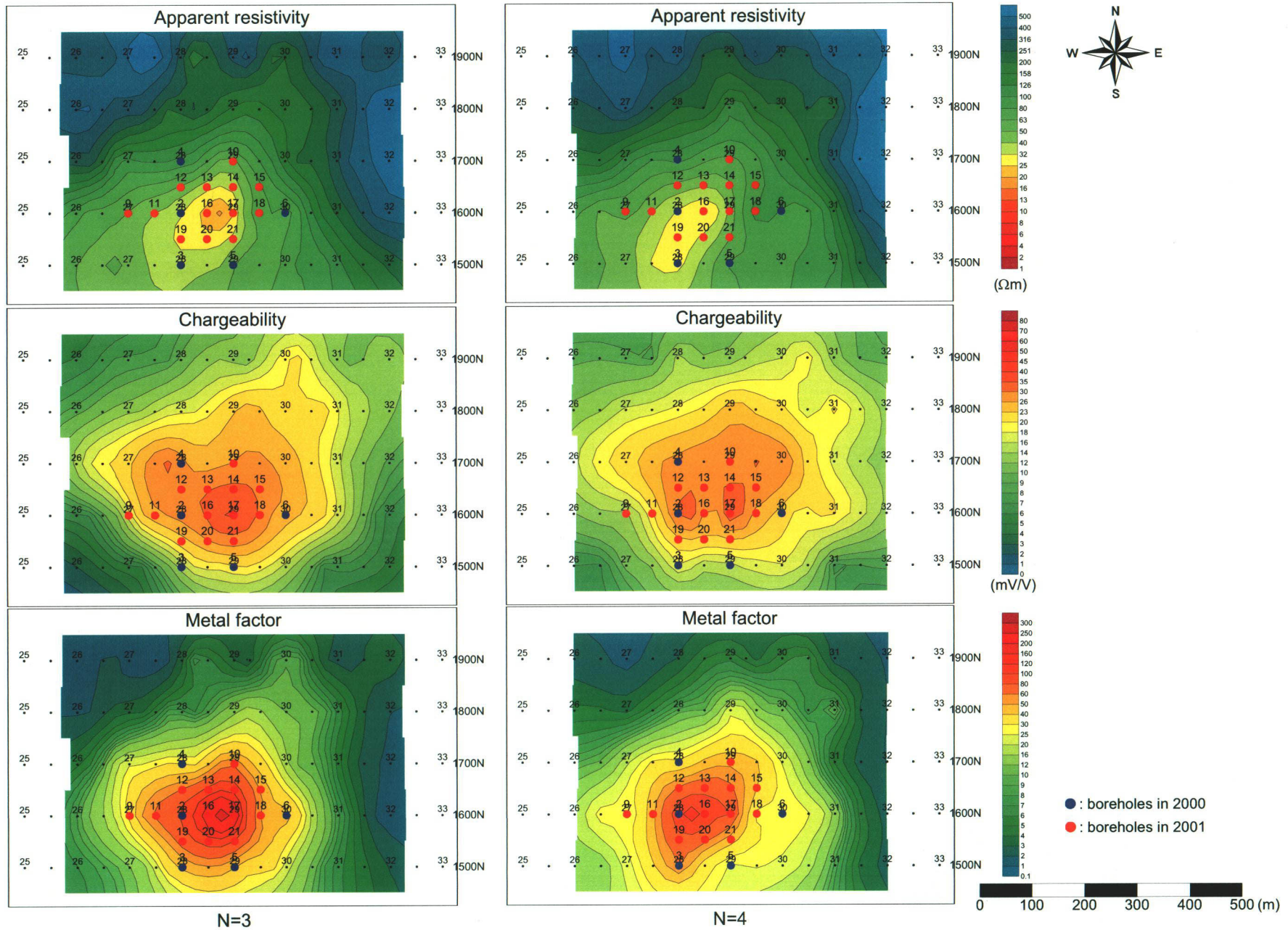


Fig. II -2-23(2) TDIP plane maps for N=3 and 4 in Quron Al-Akhabab area

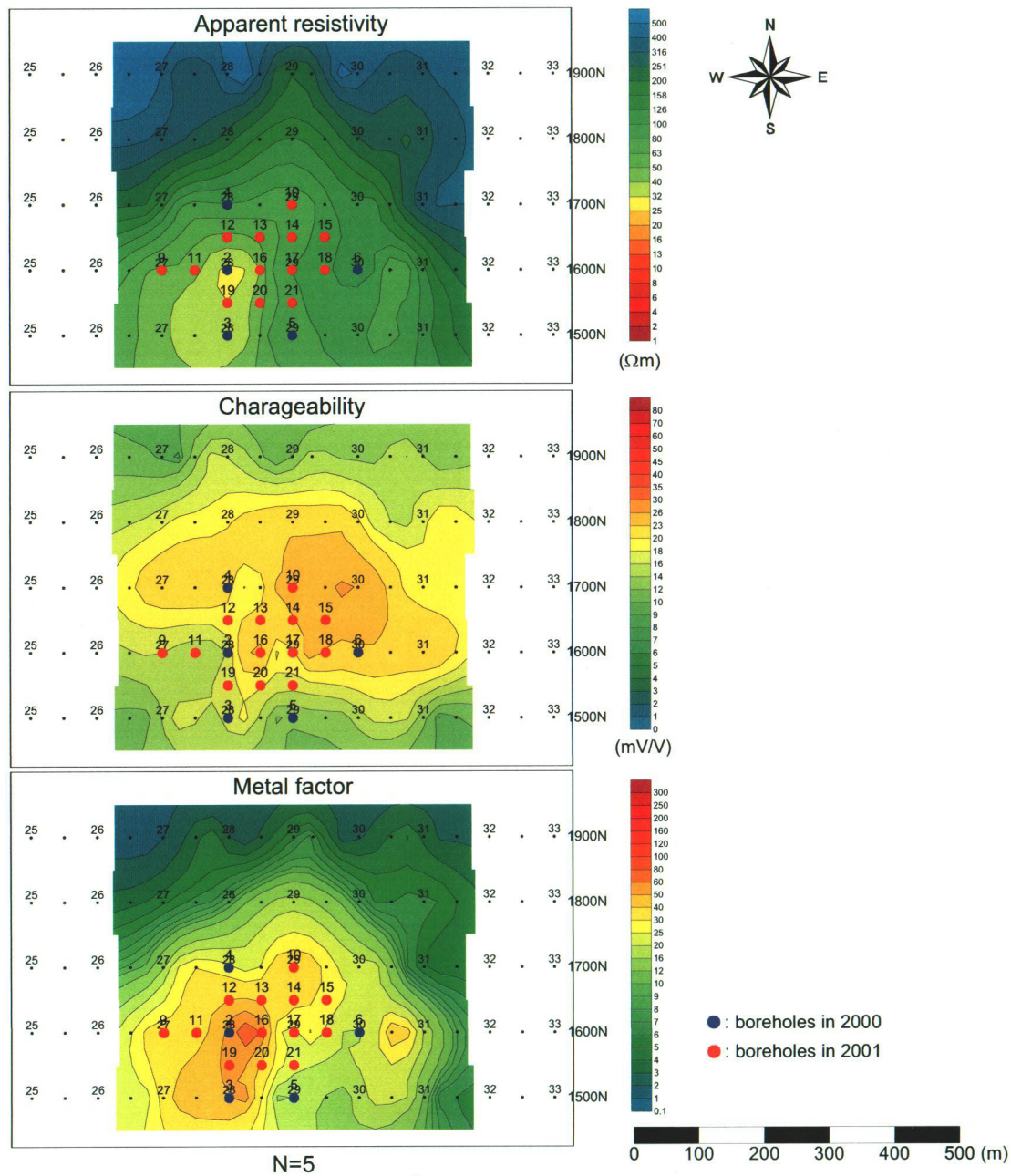


Fig. II -2-23(3) TDIP plane maps for N=5 in Quron Al-Akhabab area